# 学部イベントカレンダー

オープンキャンパス

**8**

| SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |

**9**

| SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

入試相談会

**10**

| SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

推薦入試出願期間・特別入試出願期間

大学祭

**11**

| SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

推薦入試試験日（推薦Ⅰ、推薦Ⅱ）

**12**

| SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 31 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

推薦入試合格発表（推薦Ⅰ）

大学入試センター試験

特別入試試験日

**1**

| SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | | | |

一般入試出願期間（前期日程・後期日程）

推薦入試合格発表（推薦Ⅱ）

**2**

| SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | | | |

特別入試合格発表

一般入試（前期日程）試験日

一般入試（前期日程）合格発表

**3**

| SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

一般入試（後期日程）試験日

学位記授与式

一般入試（後期日程）合格発表

## 近鉄「江戸橋」駅時刻表／平日（2017年7月20日現在）

### 名古屋方面

赤字：急行　白：白塚行　四：四日市行　無印：名古屋行

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 02 | 11 | 20 | | 四34 | 42 | 白49 |
| 16 | 02 | 四06 | 20 | 21 | 34 | 42 | 四49 |
| 17 | 02 | 白06 | 20 | 21 | 四32 | 42 | 49 |

### 伊勢中川（奈良・大阪）方面

赤字：急行　五：五十鈴川行　宇：宇治山田行　賢：賢島行
松：松阪行　鳥：鳥羽行　津新：津新町行　無印：伊勢中川行

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 00 | 松02 | 賢11 | 五21 | 30 | 松44 | 津新53 |
| 16 | 00 | 松02 | 賢11 | 宇21 | 30 | 松44 | 津新53 |
| 17 | 00 | 松02 | 11 | 鳥21 | 鳥31 | 47 | 50 |

## 三交バス「三重大学前」停時刻表／平日（2017年7月20日現在）

### 津駅方面

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 | 03 | | 06 | | 15 | 33 |
| 16 | 03 | 15 | 31 | 33 | 40 | 54 |
| 17 | 15 | 17 | 38 | 40 | 59 | |



BIORESOURCES

# 三重大学 生物資源学部

# オープンキャンパス 2017 ガイドブック


P.1 タイムテーブル
P.2 学部ガイダンス・体験授業
P.3 ブース紹介
P.4 研究室自由見学について
P.5 校舎案内マップ&研究室紹介
P.11 学部イベントカレンダー


**8/8 TUE**

**講堂三翠ホール** 10:30〜11:25

**生物資源学部校舎** 12:00〜15:30

★アンケート用紙はお帰りの際、回収箱にお入れください

MIE UNIVERSITY

bio.

# 生物資源学部オープンキャンパスへようこそ

生物資源学部長　梅川 逸人

生物資源学部は今から30年前、当時の農学部と水産学部が統合改組し、山の頂から海の底までを教育・研究のフィールドとする新しい学部として1学部1学科でスタートしました。平成12年には資源循環学科、共生環境学科、生物圏生命科学科の3学科体制となり、そしてこの度、地域の農林水産業及び関連産業などの振興を担う人材を育成するため、本年4月に新学科の設置を行いました。具体的には生物圏生命科学科を廃止し、学部定員を240名から260名に増加するとともに、農芸化学と水産化学が一体となった生物資源に関する総合的な生命化学が学べる生物圏生命化学科と、微細藻類から魚類・鯨類にわたる様々な海洋生物の資源管理や増養殖技術が学べる海洋生物資源学科を新設しました。さらに、昨年12月には海洋生物資源としての鯨類を研究する附属鯨類研究センターを設置しました。このオープンキャンパスで、生物資源学部の4つの学科（資源循環学科、共生環境学科、生物圏生命化学科、海洋生物資源学科）と4つの附属教育研究施設（農場、演習林、水産実験所、練習船勢水丸）、そして附属鯨類研究センターについてよく知っていただき、皆さんの将来進む道を決める手がかりとしていただければと思います。

## タイムテーブル

憧れのキャンパスライフを先取りできる貴重なイベントが盛りだくさん。スケジュールをしっかり把握して、効率的にまわろう！

9:45　10:00　11:00　12:00　13:00　14:00　15:00　15:30

| 内容 | 実施場所 | |
|---|---|---|
| 受付 | 講堂 ホワイエ | 9:45〜10:30 |
| 学部ガイダンス | 講堂大ホール | 10:30〜11:25 |
| 体験授業 | 218<br>大講義室 | 13:00〜13:40　14:00〜14:40 |
| 学科紹介ブース | 118<br>125 | 12:00〜15:00 |
| FSC・勢水丸・鯨研ブース | 216 | 12:00〜15:00 |
| 入試相談室 | 220 | 12:00〜15:00 |
| 生物資源<br>なんでも広場 | 217 | 12:00〜15:00 |
| 研究室自由見学 | 3F〜7F<br>各研究室 | 12:00〜15:30 |



# 学部ガイダンス

場所 講堂大ホール　時間 10:30〜11:25

生物資源学部をより知っていただき、楽しいオープンキャンパスのひと時を過ごしていただけるためのガイダンスを予定しております。梅川学部長による挨拶の後、学部概要、4つの学科および教育コースの概略などを説明します。さらに、本学部の特色である附帯施設や練習船、入試のシステムについてお話し、午後からのオープンキャンパスのお勧めの周り方も解説します。ガイダンスに引き続き、応援団によるステージをお楽しみいただいた後、研究室自由見学や体験授業などイベント盛りだくさんの学部校舎会場へ誘導いたします。

# 体 験 授 業

## あなたの知らない「地下部」の世界

場所 2階 218 大講義室　時間 13:00〜13:40

資源循環学科 国際資源植物学
**関谷 信人**

季節は夏真っ盛り。校内の緑も目に眩しい季節です。私達が目にする植物は、緑として感じる茎や葉の他に、色とりどりの花や果実であることが一般的です。茎・葉・花・果実など、土壌表面より上に配置され、私達が目にすることのできる植物の部位全体を地上部と言います。そうです。地下部とは土壌表面より下に配置された主に根を指した言葉です。「花を支える枝枝を支える幹　幹を支える根　根はみえねんだなあ（相田みつを作）」という詩にある通り、私達が植物の地下部を見たり感じたりする機会は多くありません。それだけに、私達の地下部に関する知識は限られています。一般的に、地下部は物理的に地上部を支え、同時に養水分を吸収して地上部へ供給する器官であると理解されています。しかし、地下部が自らの地上部ではなく隣接する植物へ水を供給し、その生育を促進するような灌水能力を持つことが観察されています。本授業では、そうした「あなたの知らない『地下部』の世界」を紹介します。

## イルカを学び、ヒトを知る
### ～イルカのコミュニケーションからわかること

場所 2階 218 大講義室　時間 14:00〜14:40

附属鯨類研究センター／海洋生物資源学科 魚類増殖学
**森阪 匡通**

私たち人間と体つきもすんでいる場所も全く異なるイルカたち。そんな彼らは哺乳類であり、コミュニケーションの基礎は私たち人間と共通する点がたくさんあります。イルカは鳴音でコミュニケーションをするのですが、1頭が音を出したら、だいたい1秒以内にそれ以外のイルカが答えます。もし返事がないと、不安になって自分でもう一度音を出します。これは、私たち人間がLINEなどでやりとりするのととってもよく似ています。イルカも人間もつながりを確認するために、コミュニケーションをしているのです。このように、イルカの音や行動、社会を調べることにより、私たち自身のこともよくわかってきます。この授業ではイルカのコミュニケーションの研究から見えてきたイルカのこと、そして私たち人間のことについてお話ししたいと思います（写真は伊豆諸島御蔵島村にて撮影）。

# ブース紹介

## 学科紹介ブース

### ●資源循環学科　開設場所 1階 118

資源循環学科では、生物資源を環境に配慮した方法で循環的に効率よく利用するための技術の開発や新しい社会のデザインをすることができる人材を育成し、調和のとれた循環型社会を構築することを目指しています。学科ブースでは、研究・教育についてわかりやすく展示を行います。スタッフには遠慮なくご質問ください。

### ●共生環境学科　開設場所 1階 118

共生環境学科では、陸・海・空が複雑に連動する地球生態システムの中で、私たちがどのように共生するのかを、日々、研究・教育しています。学科ブースでは、熱すぎる教員と親切な先輩たちが、環境にやさしい生産システムや持続可能な社会構築に関して夢を語ります。ぜひ気軽に学科ブースを覗いてみてください。

### ●生物圏生命化学科　開設場所 1階 125

生物圏生命化学科では、農芸化学と水産化学が共働した他大学にはない生物資源に関する総合的な生命化学を学ぶことができます。学科ブースでは、教育と研究の概要について分かりやすく説明いたします。気になる点がございましたらスタッフにお気軽にご質問ください。お待ちしております。

### ●海洋生物資源学科　開設場所 1階 125

海洋生物資源学科は今年度新設された学科です。プランクトンや藻類、貝やカニ、魚や鯨類など、海のさまざまな生物について環境との関係を理解し、海洋生物資源の持続的有効利用法について、総合的に学ぶことができます。学科ブースでは新学科の研究や教育についてわかりやすく紹介いたします。どうぞスタッフにお気軽にお尋ねください。

## FSC（フィールドサイエンスセンター）・勢水丸・鯨研ブース

生物資源学部には充実した附属教育研究施設があります。フィールドサイエンスセンター（演習林・農場・水産実験所）と練習船「勢水丸」、さらに鯨類研究センターが新設されました。これらの施設を使って、「自然の多様性」、「陸と海の相互依存性」、「自然と生物生産の関係」を体験的に理解する実習を行っています。「山の頂から海の底まで」が教育のモットーです。ブースでは展示物の他、実習のビデオも上映していますので、ぜひ見に来てください。

開設場所 2階 216

## 入試相談室

教員と入試担当職員が、入学試験（一般試験、推薦入試）だけでなく、各学科の教育と研究内容について皆さんの質問にお答えします。

開設場所 2階 220

## 生物資源なんでも広場

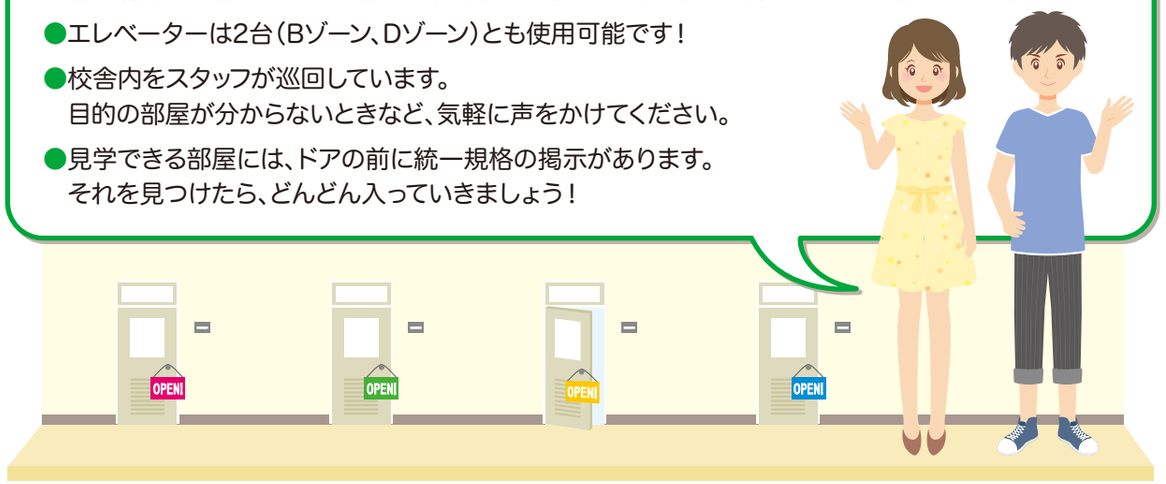
生物資源なんでも広場では、大学生の活動・活躍や、社会に対する生物資源学部の様々な取り組みを紹介します。「大学生の一日はどんな感じ？」、「部活、サークル、アルバイトと授業は両立できるの？」、「自宅通学と下宿での学生生活の違いについて知りたい！」など、高校生の皆さんが気になるキャンパスライフを先輩学生が紹介します。また、「国際交流はどうなっているの？」、「地域の高校との関係は？」、「環境先進大学ってどういうこと？」、「大学内での女性の活躍は？」といった様々な疑問にも答えますので、気になることがあれば気軽に見に来てください。

開設場所 2階 217



# 研究室自由見学について

●どの研究室がどこにあって、どんな事をしているのか、階ごとに以降のページに書いてあります。
●エレベーターは2台（Bゾーン、Dゾーン）とも使用可能です！
●校舎内をスタッフが巡回しています。
目的の部屋が分からないときなど、気軽に声をかけてください。
●見学できる部屋には、ドアの前に統一規格の掲示があります。
それを見つけたら、どんどん入っていきましょう！




「研究室がいっぱいありすぎて、どこに行ったらいいか分からない…」

「どうも自分で勝手に入っていくのは気が引ける…」

という人に。

## お気軽に学科ブースを訪ねてください。

資源循環学科　共生環境学科 → 1階 118
生物圏生命化学科　海洋生物資源学科 → 1階 125

### 注意!!

●安全のために装置や機械・薬品等に許可なく触れないでください。
興味があるときは教員や学生に一声かけてから!
●ベランダに立ち入ったり、廊下の窓から乗り出したりしないで!
●その他、緊急の場合も含め、スタッフ（ネームプレートを付けています）の指示に従ってください。
●研究室内では一切飲食は禁止されています。

# 生物資源校舎案内図

凡例
研究室名 → ① 農地工学
学科名 → 共生環境学科
展示室 → 309室
研究説明 → 当研究室では、次の3つの柱を立てています。(1)農地土壌の工学的管理技

## 1F

## 2F

### ① 農地工学　共生環境学科
309室

当研究室では、次の3つの柱を立てています。
(1)農地土壌の工学的管理技術の開発、劣化土壌の改善、国際技術協力などに関して教育・研究する。(2)我が国の農業農村における諸問題と、その対策としての土地利用計画、農業土木事業、土地改良事業、農業農村整備事業等について考究する。(3)圃場整備と農村地域の土地利用、農地保全対策および灌漑・排水に関する基本的な知識と整備計画策定の基本的な考え方を理解し、計画の評価と基本的なデザインを行う。

### ② 水資源工学　共生環境学科
319室

最近には、亀山市でヤリタナゴ保存活動の手伝い、奈良県での環境改善活動の手伝い、津土地改良区（農家の皆さん）とのサマーセミナー、学外の方々との技術報告会に参加しています。研究への取組としては、学術的な好奇心（どの要因が眼前の現象にどう関与しているのか）がベースにありますが、社会的ニーズ（学外からの相談にどう答えるかなど）を重視したいからです。

### ③ 国際環境保全学　土資源工学　共生環境学科
316室（合同展示）

国内外の農地施設と農業用排水施設における様々な環境問題に対する持続的手法による解決と農業構造物の保全を目標としています。具体的には、農業構造物に重要な「土」、「地盤」、「材料」、「水」の土木学的および工学的な現地調査・実験・解析手法に基づく地域環境保全に関する教育研究を行っています。

主に災害から地域を守るための方策や、それに必要な土構造物の安全かつ経済的な設計・施工および維持管理をテーマに研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

### ④ 環境施設工学　共生環境学科
323室

農業に必要な水を水田や畑に導くまでには多くの施設が必要です。当研究室では、水を確保し導くための構造物やその材料の研究を行っています。ダム、橋や水路などの構造物に興味のある方は是非いらしてください。

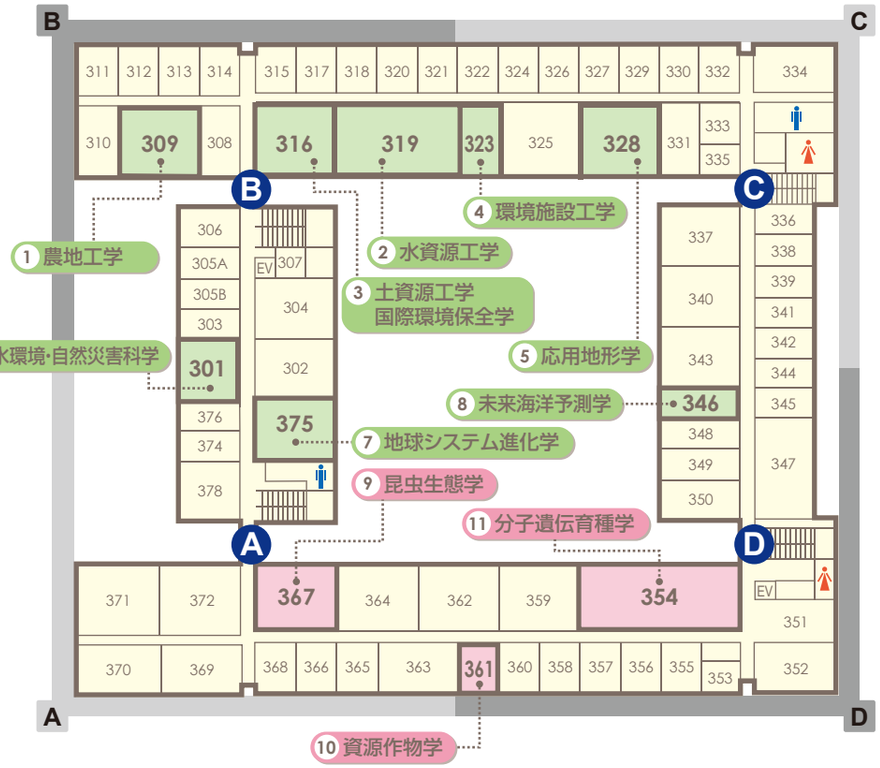
### ⑤ 応用地形学　共生環境学科
328室

地域計画を立てるためには自然環境、人文環境を知らなければなりません。またこれらを適切な評価をしていくことが求められています。美しい田園空間を創造するために必要な自然環境の評価方法、適切なゾーニングのやり方などについて調べています。対象地域は日本のみならず、ドイツ、フランスなどの先進的な計画地域、東南アジア、南アジアなどに広範に及んでいます。

## 3F

資源循環学科
共生環境学科
生物圏生命化学科
海洋生物資源学科
研究室の配色は、所属学科を表します。

非開放研究室
- 環境解析学 共生環境学科 302室
- フューチャー・アース学 共生環境学科 330室
- フードシステム学 共生環境学科 総合研究棟Ⅱ 411・412号室




### ⑥ 水環境・自然災害科学　共生環境学科
301室

人にとって水は必要不可欠なものであると同時に、高潮、津波、洪水などによって命や財産を失うことがあります。そこで、良好な水環境と水に関わる災害について教育・研究しています。地震の研究もやっています。

### ⑦ 地球システム進化学　共生環境学科
375室

「わたしたちの地球のことをもっと知りたい」…地球システム進化学研究室では、「これまでの地球」のことを地球の記録である海底堆積物から調べたり、「これからの地球」について自然エネルギー社会のビジョンやしくみを研究しています。当日は（1）学生による研究の紹介、（2）深海・太古の堆積物の展示やラボツアーを予定しています（時間は375室でご確認ください）

### ⑧ 未来海洋予測学　共生環境学科
346室

「海が未来の気候を左右する」海は大気に膨大な熱や水蒸気を与えることで、気候に大きな影響を及ぼしています。この研究室では、海が集中豪雨、台風、低気圧などに及ぼす影響について、研究を行っています。

### ⑨ 昆虫生態学　資源循環学科
367室

昆虫の生態を研究しています。野外調査もたくさんしていますが、本日は実験室を見学していただきます。室内実験では主にアシナガバチと寄生蜂の行動、外来の植食性カメムシの餌範囲の進化などを研究しています。研究室のありのままの姿をご覧下さい。

### ⑩ 資源作物学　資源循環学科
361室

イネ、ダイズ、イセイモなど作物の生育特性を調べて、収量を増やす方策や新しい品種の育成に取り組んでいます。開放する実験室内ではいろいろなダイズを展示しています。

### ⑪ 分子遺伝育種学　資源循環学科
354室

主に植物の遺伝子解析や品種改良に関連した研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

## ① 気象・気候ダイナミクス　気象解析予測学　共生環境学科

482室（合同展示）

「地球の謎を知ることってワクワクするぞ！」気象学をベースとして、地球規模の気象の長期変動や気候変動の仕組みの解明を目指して研究を行っています。学部レベルで気象学の勉強と研究を本格的にできる大学は、中京圏では三重大学だけです。

気象の研究のために様々な気象データを扱っています。当日はその一部を紹介します。

## ② 緑環境計画学
共生環境学科

404室

森林の持続的利用を目指し、森林の現状や機能を評価する研究や森林の管理計画を構築する研究を行っています。いま私たちが国内外の森林で行っている研究についてご紹介します。

## ③ 生物環境制御学
共生環境学科

411室

太陽や土を使わないで植物を育てる装置を開発し、光、温度、湿度、音、風などの要因が植物の生長に及ぼす影響について研究しています。植物を栽培する作業者を支援するロボットの開発にも取り組んでおります。

## ④ エネルギー利用工学
共生環境学科

417室

持続可能な自然エネルギーの複合利用や情報収集ロボットの開発、環境に優しいバイオマス材料の開発研究等を行っています。是非ご覧ください。

## ⑤ 生産環境システム学
共生環境学科

427室

環境負荷が小さい生物生産システムや機械システムなどに関して教育・研究を行っています。例えば、養殖魚の自発摂餌システム、生物生産用知能ロボット、設備の健康状態が分かる診断器などの研究。詳細については研究室HPを是非ご覧下さい。

## ⑥ 応用環境情報学
共生環境学科

424室

「環境にやさしい」
「作物にやさしい」
「人にやさしい」をテーマにしたものづくりをしています。是非、見学に来て下さい。

## ⑦ 食品発酵学
生物圏生命化学科

434室

微生物を使った有用物質の生産や、微生物酵素の研究を行っています。人数に限りがありますが、簡単なDNA実験を体験できます。普段の卒業研究実験の雰囲気を味わってください。

## ⑧ 生物資源経済学　循環経営社会学　資源経済システム学　資源循環学科

478室（合同展示）

最近大きな問題となっている食料問題や資源・環境問題を解決するためには、新たな技術開発とともに、それに対応するように社会の仕組みを変えていく必要があります。この研究室ではそのような社会の仕組みを教育・研究しています。

今後の循環型社会においてあるべき持続的農業経営や有機農業経営の確立や、生ゴミ堆肥化などの食品リサイクルの推進といった社会的課題に取り組んでいます。そのために、国内外の農業経営や食品関連企業の実態や、消費者の食に対する意識調査など、フィールドを重視した研究を行っています。

国民の食料供給および豊かな食生活の実現に重要な役割を果たしている水産物の安定供給および地域経済の振興を目指し、当研究室では、水産資源管理の新しい理念の導入と検証、および新たな水産物の生産・流通・消費システムの構築を主な研究課題として、調査・研究・分析を行っています。

## ⑨ 国際資源利用学
資源循環学科

442室

近年、世界で草地利用・家畜生産システムに深刻な問題（草原の劣化、生産病、家畜福祉等）が生じています。この現状を打破し、持続的な草地利用・家畜生産システムを確立するため、放牧草原を構成する牧草ー動物ー土壌の相互作用を含んだ生態系システムの理解や、家畜（草食動物）の飼料、栄養、健康性、行動に関する研究を行っています。

## ⑩ 草地・飼料生産学
資源循環学科

440室

私たちの健康を支える乳や肉の生産に欠かせない「飼料資源」について、反芻動物による栄養素の利用性の観点から研究を行っています。本日は身近な乳製品のもとになっている様々な飼料を展示してます。

## ⑪ 森林微生物学
資源循環学科

450・451・452室

森の栄養循環に欠かせない微生物の働きを明らかにするため、樹木に密接にかかわる菌類、細菌類、線虫の生態に関する研究を行っています。本日は微生物の分離・培養、観察やDNA解析で扱う機器の説明をいたします。

## ⑫ 国際資源植物学
資源循環学科

458室

日本を含めた世界のどこかで有用資源として利用される植物の栽培技術を研究します。特に、様々な環境条件下で植物の生産量を増加させる技術あるいは最終産物の品質改善を促す技術に注目しています。

## ⑬ 園芸植物機能学
資源循環学科

462室

身近な果物や野菜を「よりおいしくするには？」「効率よく楽に育てるには？」「暑さなどの悪環境に強くするには？」などのテーマに取り組んでいます。園芸作物に興味がある方は462号室にご集合ください。



## ① 森林環境砂防学
資源循環学科

502室

土石流、山崩れなどによる土砂災害を減災するための研究をしています。2011年の紀伊半島での台風災害、2014年の広島市での災害、2016年の熊本災害など、地震や豪雨などによる土砂災害は壊滅的な被害をもたらします。土砂災害のメカニズム、減災の技術と戦略に興味ある皆さん一度、研究室にご来室ください。

## ② 森林利用学
資源循環学科

505室

森は生物の棲む場所です。その中の少しの部分を人は自然から借りて生きています。私達の研究室では、欲張って人がたくさん森の資源を使ってしまったり、荒らしてしまわないように、適切な木の伐り方、伐る場所、伐る量などをフィールドでの調査や数学、GIS、リモートセンシングを使った方法で研究しています。

## ③ 応用行動学
海洋生物資源学科

517室

黒潮や沿岸の海況を観測したり海の中へ透過する光を計測し、実験室内にこれらを再現してエビ・カニ類や魚の生態との関連を研究しています。本日は観測や実験の様子を写真や映像を交えて紹介し、適宜質問にお答えします。

## ④ 水圏資源生物学　水圏分子生態学
海洋生物資源学科

529室（合同展示）

二枚貝類、魚類を材料に水生生物の発生、遺伝/育種に関する研究を行っています。また外来種についても研究を行っております。当日は、「顕微鏡で探る未知の世界」としてプランクトンから魚に至る水生生物の不思議について展示説明を行います。また、当研究室の活動内容についても紹介します。

## ⑤ 海洋生態学
海洋生物資源学科

540室

干潟・砂浜から深海までの貝や甲殻類などの海洋生物の生態や保全に関する研究を行っています。野外調査を通じて、生きた生物に触れられます。本日は研究の調査フィールドや対象生物を紹介し、適宜質問にお答えします。

## ⑥ 動物生産学
資源循環学科

552室

動物のホルモン分泌や消化管に生息している微生物について調べることで、動物の生産性を高めるための基礎的な研究を行っています。本日は羊の第一胃に生息している微生物をお見せします。

## ⑦ 植物医科学
資源循環学科

559室

当研究室では植物の病気の診断、防除およびそれに付随する基礎的な研究を行っています。今回は光学顕微鏡（555室）、走査型電子顕微鏡（565室）にて菌類の観察をして頂きます。

## ⑧ 森林保全生態学
資源循環学科

570室

森林生態系のしくみを明らかにするために、森林に生育する野生植物の生態を研究しています。例えば、フィールドである森林や水辺林に通い、樹木めばえの生き残りパターンや成長を調べ、生育環境と生物との関係について考えます。

## ⑨ 土壌圏システム学　土壌圏循環学
共生環境学科

573室（合同展示）

吸水や浄化などの「土の力」を解明し、センサーやシミュレーションを使って「土を探る」ことを目的にしています。
是非、見学に来てください。

## ⑩ 分子生物情報学
生物圏生命化学科

579室

ゲノム解析や遺伝子・タンパク質の発現解析、タンパク質の構造や機能の解析、およびそれらの応用を目指した教育研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。
※精密機器があるため立ち入りできないエリアがあります。

## ① 木質分子素材制御学　資源循環学科
602室

石油の代わりに、木材や穀物の茎を使って、様々な製品を創りだす研究をしています。バイオマス、バイオエタノール、セルロースナノファイバー、リグニン、紙、地球温暖化、石油代替、循環型社会、などに関心ある皆さんは是非お越しください。現役大学生、大学院生が、最前線の研究をお見せします。

## ② 木質資源工学　資源循環学科
604室

当研究室では木材の物性や力学的性質および木造建築の構造耐力や居住性に関する研究を行っています。興味のある皆さんは研究室HPを是非ご覧ください。

## ③ 魚類増殖学　海洋生物資源学科
610室

魚類の生態を解明し天然水域で魚を増やすための研究や外来魚の駆除技術の開発、鯨類の生態・繁殖生理について研究しています。本日は研究資料の一部を展示するほか、研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

## ④ 先端養殖管理学　海洋生物資源学科
615室

魚介類の病気（魚病）に関すること、具体的には魚介類が病気にかかる仕組み（病理）、病気を起こす生物（病原生物）、病気から身を守る仕組み（生体防御）、および魚病の治療法や予防法などについて研究しています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

## ⑤ 浅海増殖学　海洋生物資源学科
625室

当研究室では、魚類や甲殻類の餌料生物プランクトンの培養技術の開発や栄養価の向上に関する研究、気候変動が海洋生物の再生産に与える影響に関する研究などを行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

## ⑥ 水族生理学　海洋生物資源学科
629・631室

主に魚類の感覚（視覚・嗅覚・味覚）や摂餌リズムに関する研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。（※視覚は629室、味覚・嗅覚・摂餌リズムは631室にて説明します。）

## ⑦ 生物海洋学　海洋生物資源学科
644室

植物プランクトンや化学成分など海洋の生産場を支える領域の研究や赤潮に関する調査・研究を行っています。本日は実際に顕微鏡による植物プランクトン観察などできます。

## ⑧ 食品生物情報工学　生物圏生命化学科
652室

生物体や食品の光計測とそのバイオ・食品加工プロセスへの応用、食品の風味に関する基礎的な研究、先端的な食品加工技術などの研究を行っています。詳細については研究室HPを是非ご覧下さい。

## ⑨ 栄養化学　生物圏生命化学科
657室

動植物・微生物から得られた未利用資源を利用し、生活習慣病の予防や健康の増進に役立てています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

## ⑩ 生理活性化学 創薬化学　生物圏生命化学科
662室（合同展示）

生物の世界では様々な瞬間に鍵と鍵穴の関係が活躍します。ウイルス、医薬品、香り、味、など様々な現象を解き明かすために鍵と鍵穴を化学的に研究しています。当日は、研究内容の説明と実験室の見学を行います。

## ⑪ 生物機能化学　生物圏生命化学科
667室

生き物から機能性物質を取りだして役立てる研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。※実験室内の器具や試薬には許可無くさわらないでください。



## ① 海洋微生物学　生物圏生命化学科
702・706室

海洋細菌の生態、代謝解析、有用微生物の利用および有害微生物の制御について研究しています。研究室の見学では、微生物の単離・同定のための実験設備・機器や嫌気性バイオリアクター、洗浄メカニズムの解析装置、空間除菌装置、表面清浄度の簡易測定技術、抗菌性材料の成果品などを展示しています。

## ② 水産物品質学　生物圏生命化学科
710室

皆さんが毎日口にする食品の成分分析や食品に残留しては困る薬物や農薬などの検出、さらに魚などの鮮度や品質に関する科学的評価や技術開発を行っています。また、水産物の高品質化に役に立つ微生物や遺伝子の探索、機能解析も行っています。

## ③ 海洋食糧化学　生物圏生命化学科
713室

海洋生物、特に海藻類に含まれるポリフェノールや色素成分など有用有機化合物の探索と生理機能の解析に関する研究を行っています。また、海藻多糖類からのオリゴ糖や希少糖の開発に関する研究にも取り組んでいます。

## ④ 生体高分子化学　生物圏生命化学科
715室

水生生物の筋肉の特殊な機能について生化学、分子生物学的方法で研究しています。サメ、アコヤガイをターゲットに研究を行っています。また真珠を作るアコヤガイから機能性成分を取り出し、例えば真珠成分などを分析し、化粧品素材としての素材開発を目指しています。研究室では真珠成分からつくった化粧品の展示を行う予定です。

## ⑤ 水圏生物利用学　生物圏生命化学科
718室

魚類（ゼブラフィッシュ、キンギョ）を用いた組換えタンパク質生産や抗体生産のためのバイオテクノロジーに関する研究を行っています。また、未利用バイオマスを利用したバイオリファイナリーについても研究を行っています。

## ⑥ 生物物性学　生物圏生命化学科
722室

体の全体に血液を運搬している血管の細胞や筋肉の細胞の生理的機能を研究しています。これらの機能に関わるタンパク質やその遺伝子の機能を調べています。また食品の固さや流動性を調べる研究もおこなっています。

## ⑦ 海洋生物化学　生物圏生命化学科
726室

海藻の生命現象のメカニズムを遺伝子やタンパク質レベルで調べる研究のほか、アコヤ真珠の色調に関わる色素の研究なども行っています。本日は研究室を公開し、みなさんの質問にお答えします。

## ⑧ 水圏材料分子化学　生物圏生命化学科
739室

天然物から私達の健康や美容面に有効な成分を探索する研究をしています。本日は研究の紹介や皆様のご質問にお答えします。

## ⑨ 土壌圏生物機能学　資源循環学科
741室

高いpHの土壌（アルカリ土壌）に生育する特殊植物の調査と、それらを使った採石場の緑化について研究しています。741号室で緑化に使っている植物を展示します。

## ⑩ 食品化学　生物圏生命化学科
749室

デンプンや砂糖などの食品資源を、有用な物質に変換する研究を行なっています。とくに、機能性食品や医薬品としての利用を目指した、食物繊維やオリゴ糖などの合成に取り組んでいます。

## ⑪ 分子細胞生物学　生物圏生命化学科
754室

主に動物細胞を用いて、DNA複製や転写、細胞分化などに関する研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。
※一部精密機械や化学試薬がございますので、それらについてはお手をふれないようお願いいたします。

## ⑫ 応用微生物学 微生物遺伝学　生物圏生命化学科
759室（合同展示）

主に微生物によるバイオマス利用に関する分子生物学的研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。
※遺伝子組換え実験を実施中ですので一部見学をお断りする場合があります。